

## 9

# 社会福祉法人経営者協議会の取り組み

平成23年3月11日から平成25年1月31日までの間、社会福祉法人経営者協議会（以下、「経営協」という。）では、様々な復興支援活動を展開しました。

なお、この地震津波で、橋本行男県経営協会会長は、帰らぬ人となりました。

4月21日、橋本会長の後任には、関口知男社会福祉法人みちのく協会理事長が選任されました。

## （１）初期の被害状況把握

平成23年3月11日、岩手県、宮城県、福島県をはじめとする沿岸地域に大津波が押し寄せました。社会福祉法人が経営する施設にも多くの被害が発生しましたが、沿岸地域との連絡手段が途絶え状況把握には大きな困難がありました。14日から県社協職員が実施した3班編成の沿岸地域訪問調査で、徐々に情報が集まりだし、沿岸地域の法人施設の被害状況がわずかながら判明してきました。

また、沿岸地域の被害情報は錯綜し、伝聞も多かったことから建物被害や犠牲者、避難者などの情報は、絶えず変化していました。

### 平成23年3月17日の福祉施設被害の把握状況

No.	種別	被害あり	著しい被害あり	合計
1	高齢者施設	16	7	23
2	障がい施設	34	8	42
3	児童福祉施設	10	確認中	10

### 平成23年3月18日の福祉施設被害の把握状況

No.	種別	被害あり	著しい被害あり	合計
1	高齢者施設	21	5	26
2	障がい施設	36	12	48
3	児童福祉施設	17	5	22

## （２）全国社会福祉施設経営者協議会の支援物資配送

全国経営協は、被災地における福祉施設の食糧不足を強く懸念し、白米、野菜、水、缶詰等トラック2台の緊急物資支援を実施しました。県経営協はこれを受け入れ、入所系施設を経営し一般避難者を数多く受け入れている法人を中心に緊急支援物資を配送することを決定。内陸部の青年経営者会会員にスタッフ協力を呼びかけ、3月22日～23日に沿岸部の法人を訪問、支援

配送地区	法人名	支援物資	各法人の被災者受入状況等
陸前高田市	愛育会 高寿会	米3俵 米4俵	避難者60人～受入、現在、他施設へ移動 避難者600人受入、現在400人程度
大船渡市	愛生会 成仁会	米4俵 米4俵	拠点法人、地盤沈下により建物躯体に被害 避難者45人程度受入
釜石市	清風会	米4俵	避難者150人受入、現在6世帯15人
大槌町	堤福社会	米4俵	避難者300人受入、現在、三陸園、らふたあヒルズ、計200人受入
山田町	親和会 正受会	米3俵 米3俵	はまなす学園全壊、利用者・職員避難生活 避難者150人受入、現在他施設へ移動
宮古市	川井心生会	米3俵、水	田老地区被災者十数名受け入れ。今後宮古市からの受け入れ要請がある。
	田老和心会 新里紫桐会	米3俵、水 米3俵、水	避難者300人受け入れ、現在十数名程度 避難者15人受け入れ。今後宮古市からの受け入れ要請がある。
	恵心会	米3俵、水	避難者50人受け入れ、現在十数名
久慈市	久慈福松会	米3俵、水	久慈市地区拠点法人
洋野町	みちのく大寿会	米3俵、水	洋野町拠点法人
野田村	野田白寿会	米3俵、水	デイサービス利用者を中心に受け入れ。

## まごころ交差点

全国経営協から

がんばれ岩手



岩手県経営協青年部会



物資を届けました。

### ①平成23年3月18日

全国経営協から第1回緊急支援物資受け入れ

### ②平成23年3月20日

全国経営協から第2回緊急支援物資受け入れ

### ③平成23年3月22日～23日

沿岸地域の法人に配送

### ●配送応援協力体制

法人名：みちのく協会5名、やよい福祉会1名、石鳥谷会1名

### ④平成23年3月24日

各法人被害状況及び支援ニーズを調査

### ⑤平成23年3月31日 被災法人訪問相談

## (3) 全国社会福祉施設経営者協議会の被災地調査の協働

全国社会福祉施設経営者協議会は、沿岸被災地の実態把握について、県経営協の調査を支援することになりました。全国経営協事務局員が会員施設の職員派遣を受けて調査チームを編成し、被災沿岸各地に調査チームや介護職員を派遣しました。以下はその経過。

### ①平成23年3月16日全国経営協事務局職員岩手県社協入り

### ②平成23年3月22日社会福祉法人・福祉施設支援現地本部を県社協内に設置

### ③平成23年3月24日県社協、県経営協と連携して現地の被災状況調査及び支援活動を開始

### ④平成23年3月26日全国経営協会員法人の職員第一陣8名が支援のため県社協入り

### ⑤平成23年3月27日～7月下旬

1クール5日間の予定で、沿岸地域を4ブロック（久慈、宮古、釜石、大船渡）に分け、2名1組となり、地域に所在する社会福祉法人・福祉施設をすべて訪問し、被害の状況や支援に対するニーズを把握しました。

訪問調査は、これまでに連絡が取れた法人・福祉施設をも含め約203施設。

#### ●久慈ブロック51施設

#### ●宮古ブロック65施設

#### ●釜石ブロック36施設

#### ●大船渡ブロック51施設

調査チームは、5日交代で調査に従事、各法人・施設を2回訪問することにより被害や避難者の受け入れ状況を把握しました。

この調査結果は、後に全国経営協等から寄せられた義援金配分の基礎資料となったほか、保育所、老人福祉施設、障がい者福祉施設等の種別協議会における義援金配分の基礎資料としても活用されました。また、国内の様々な災害支援団体の問い合わせに対し、県内法人の被災状況を情報提供した結果、多くの支援に結びつきました。

### ⑥被災地社会福祉協議会への支援

法人・施設の被災状況調査活動を終了した後、調査チーム数を徐々に縮小しながら、支援先を社会福祉協議会や避難所に移していきました。

山田町社会福祉協議会における被災者サロンの設置活動、大槌町社会福祉協議会及び陸前高田市社会福祉協議会における災害ボランティアセンター運営支援、避難所や仮設住宅等ニーズ調査、陸前高田市立第一中学校避難所支援など、変化するニーズに対応して頂き、支援は7月下旬まで継続されました。

## (4) 被災法人への復興支援に係る会議等の開催

### ①福祉医療機構との意見交換会

平成24年4月16日、ふれあいランド岩手

### ②全国経営協・厚生労働省との意見交換会

平成23年4月21日、ふれあいランド岩手

### ③福祉医療機構との意見交換会

平成24年5月8日、ふれあいランド岩手

### ④災害復興経営支援検討会

平成23年5月18日、ふれあいランド岩手

出席者：関口経営協会長、宮城好郎岩手県立大学教授、菊池青年部会長、各種別協議会担当者等

#### ⑤福祉医療機構との意見交換会

平成23年6月21日、ふれあいランド岩手

### (5) 東日本大震災津波義援金配分委員会活動

#### ①東日本大震災津波義援金配分委員会設置要綱の策定

#### ②県経営協・東日本大震災津波義援金配分委員会の設置

東日本大震災津波義援金配分委員会委員名簿

平成23年7月14日

区 分	役 職	氏 名	備 考
経営協会長	委員長	関口 知男	
経営協副会長	委 員	熊谷 徳雄	
経営協副会長・沿岸ブロック長	委 員	及川 穰	
経営協副会長	委 員	千葉 修	
経営協副会長	委 員	駒木 慶憲	
経営協沿岸ブロック幹事	委 員	藤井 喜八郎	
経営協沿岸ブロック幹事	委 員	檜山 憲作	

#### ③東日本大震災津波義援金配分委員会活動

第1回 平成23年7月14日

第2回 平成23年7月22日

第3回 平成23年8月2日

第4回 平成23年9月1日

#### ④義援金配分

県経営協は、県内の各種別協議会において義援金及び支援金の募集を開始したことから、県経営協としての県内募金は行わないこととしました。

3月31日、全国経営協から見舞金300万円を受け入れ

7月12日、全国経営協から義援金4000万円を受け入れ

8月3日、見舞金を19法人に送金。人的被害及び建物被害に対する法人見舞金257万円  
物資輸送等経費及び物資支援経費43万円

8月8日～10日、県経営協役員による被災法人訪問及び義援金目録贈呈、支援相談

8月10日、義援金4000万円を47法人（非会員含む）に送金

●山田町、大槌町、釜石市、遠野市、奥州市、北上市の22法人に熊谷副会長、檜山幹事が訪問

●大船渡市、陸前高田市、一関市の15法人に千葉副会長、藤井幹事が訪問

●野田村、田野畑村、宮古市、一戸町の10法人に関口会長、菊池青年部会代表が訪問



#### ●見舞金配分基準

項 目	区 分	見舞額(円)	対象数
人的被害見舞額	死亡・行方不明(役員の場合)	30,000	9名
	死亡・行方不明(理事長の場合)	100,000	1名
建物被害見舞額	全壊・流失	200,000	7か所
	半壊	100,000	8か所



●見舞金配分先・金額(円)

	地域	法人名	施設名	人的被害	建物被害	人的見舞額	建物見舞額	合計
1	大船渡	三陸福祉会	特養ホームさんりくの園		全壊		200,000	200,000
2	大船渡	典人会	末崎 DS、赤崎町 DS	役員1	半壊	30,000	100,000	130,000
3	大船渡	愛生会	身障療護施設吉浜荘	理事長1	半壊	100,000	100,000	200,000
4	大船渡	大洋会	青松館他3施設	役員1	全壊	30,000	200,000	230,000
5	釜石市	釜石愛育会	鵜住居保育園		全壊		200,000	200,000
5	釜石市	わらび会	わらび学園分園		全壊		200,000	200,000
6	釜石市	愛恵会	養護老人ホーム五葉寮、DS	役員1	全壊	30,000	200,000	230,000
7	釜石市	清風会	あいぜんの里		半壊		100,000	100,000
8	宮古市	三宝会	宮古保育園		半壊		100,000	100,000
9	宮古市	田老和心会	特養ふれあい荘	役員1		30,000		30,000
10	宮古市	慈愛会	赤前保育園	役員1		30,000		30,000
11	陸前高田市	高寿会	特養ホーム高寿園	役員3		90,000		90,000
12	山田町	親和会	はまなす学園／わかき保育園等		全壊		200,000	200,000
13	山田町	三心会	山田第一保育所		半壊		100,000	100,000
14	山田町	光明福祉会	山田第二保育園	役員1		30,000		30,000
15	野田村	野田村保育会	野田村保育所		全壊		200,000	200,000
16	一関市	さいわい会	幸町保育園・本園		半壊		100,000	100,000
17	一関市	仁愛会	特養ホーム一関ケアサポート		半壊		100,000	100,000
18	奥州市	愛護会	知的障害者更生施設静山園		半壊		100,000	100,000
合計						370,000	2,200,000	2,570,000

●全国経営協の義援金による配分基準

※種別協議会の義援金配分の無い身障療護施設、救護施設、児童養護施設を経営する法人の入所施設流失・全壊 400 万円、半壊・地盤沈下 200 万円
※高齢者及び知的障害者入所施設の流失・全壊 320 万円、半壊 100 万円。同通所施設・利用施設・グループホームの流失・全壊 120 万円、半壊・地盤沈下 60 万円
※民間保育所の流失・全壊 60 万円、半壊・地盤沈下 30 万円
※法人に対する義援金の内、建物等被害の算定は、法人の中で被害が大きい二つ施設の基準額を合算して算定する。非会員は半額を算定する
※法人に対する義援金の内、地域貢献に関する算定は、避難者の受入や物資提供、職員の地域活動等の状況を基準に 30 万円を算定する 非会員の算定は 10 万円

## ww全国経営協義援金配分先・金額(円)

NO	市町村	種別	法人名	施設名	全壊等	半壊等	地域貢献	合計
1	野田村	保育	野田村保育会	野田村保育所	600,000	0	0	600,000
2	田野畑村	高齢	寿生会	寿生苑	0	0	300,000	300,000
3	田野畑村	障がい	NPO 法人ハックの家	就労継続 B 型ハックの家	0	0	100,000	100,000
4	宮古市	高齢	恵心会	慈苑	0	0	300,000	300,000
5	宮古市	高齢	田老和心会	ふれあい荘	0	0	300,000	300,000
6	宮古市	高齢	川井心生会	心生苑	0	0	300,000	300,000
7	宮古市	保育	三宝会	宮古保育園	0	300,000	0	300,000
8	宮古市	高齢	新里紫桐会	紫桐苑			300,000	300,000
9	宮古市	障がい	若竹会	全国調査員拠点		0	300,000	300,000
10	山田町	高齢	正受会	平安荘	0	0	300,000	300,000
11	山田町	保育	三心会	第一保育所	0	0	300,000	300,000
12	山田町	障がい	親和会	はまなす学園	4,400,000	0	0	4,400,000
13	陸前高田市	高齢	高寿会	高寿園	0	1,000,000	300,000	1,300,000
14	陸前高田市	保育	陸前高田市保育協会	竹駒保育園等	600,000	0	300,000	900,000
15	陸前高田市	障がい	愛育会	作業所さきり等	1,200,000	600,000	300,000	2,100,000
16	陸前高田市	障がい	燦々会	あすなろホーム		300,000	0	300,000
17	大船渡市	高齢	三陸福祉会	さんりくの園等	4,400,000	0	0	4,400,000
18	大船渡市	高齢	成仁会	富美岡荘等	0	0	300,000	300,000
19	大船渡市	高齢	典人会	赤埼デイ等	1,200,000	600,000	300,000	2,100,000
20	大船渡市	保育	赤崎愛児会	赤崎保育園	0	0	300,000	300,000
21	大船渡市	保育	蛸の浦愛育会	蛸の浦保育園	0	0	100,000	100,000
22	大船渡市	保育	明和会	明和保育園	0	0	100,000	100,000
23	大船渡市	療護	愛生会	吉浜荘	0	2,000,000	0	2,000,000
24	大船渡市	障がい	大洋会	青松館等	0	1,200,000	300,000	1,500,000
25	釜石市	高齢	愛恵会	五葉寮等	4,400,000	0	0	4,400,000
26	釜石市	高齢	清風会	あいぜんの里	0	0	300,000	300,000
27	釜石市	高齢	陽風会	仙人の里	0	0	300,000	300,000
28	釜石市	高齢	楽水会	アミーガはまゆり	0	0	100,000	100,000
29	釜石市	保育	愛泉会	釜石保育園	300,000	0	0	300,000
30	釜石市	保育	釜石愛育会	鶴住居保育園等	600,000	0	300,000	900,000
31	釜石市	保育	日本聖公会釜石神愛教会	釜石神愛保育園			100000	100,000
32	釜石市	障がい	豊心会	ケアホーム	1,200,000	0	300,000	1,500,000
33	釜石市	障がい	NPO 釜石市身体障害者協議会	釜石市福祉作業所	600,000	0	100,000	700,000
34	釜石市	障がい	翔友	釜石ワークステーション	600,000	0	0	600,000
35	大槌町	高齢	堤福祉会	三陸園等	0	0	300,000	300,000
36	大槌町	保育	吉里吉里保育園	吉里吉里保育園	300,000	0	0	300,000
37	大槌町	保育	大槌福祉会	大槌保育園	300,000	0	0	300,000
38	大槌町	障がい	わらび会	わらび学園分園	1,200,000	0	300,000	1,500,000
39	大槌町	療護	リアス福祉会	四季の郷		0	300,000	300,000
40	盛岡市	障がい	カナンの園	支援職員宿泊	0	0	300,000	300,000
41	北上市	障がい	方光会	北秋寮	0	600,000	0	600,000
42	遠野市	高齢	とおの松寿会	遠野長寿の郷			300,000	300,000
43	一関市	高齢	柏寿会	福光園	0	600,000	0	600,000
44	一関市	障がい	ふじの実会	ふじの実学園等	0	1,200,000	0	1,200,000
45	一関市	障がい	仁愛会	ワークキャンパス		1,000,000		1,000,000
46	奥州市	障がい	ひまわり会	すてっぷ		300,000	0	300,000
47	奥州市	障がい	ひたかみ福祉会	ワークみずさわ		600,000	0	600,000
					21,900,000	10,300,000	7,800,000	40,000,000

## (6) 助成団体による車両寄贈等の 取りまとめ、推薦

### ①オリックス財団車両寄贈

23年度7法人(愛生会、わらび会、翔友、親和会、陸前高田市社会福祉協議会)

24年度2法人(若竹会、大洋会)

### ②NHK厚生文化事業団「福祉相撲号」贈呈先推薦

23年度2法人(若竹会、修倫会)

### ③トヨタ自動車(中古車10台寄贈)

23年度(愛恵会2台、翔友1台、山田町社会福祉協議会1台、大槌町社会福祉協議会1台、陸前高田市社会福祉協議会3台、県社会福祉協議会2台)

### ④トヨタ自動車労組及びトヨタ車体(2台寄贈)

23年度(釜石市福祉作業所、愛恵会デイサービスセンター)

### ⑤世界宗教者平和会議日本委員会(移動入浴車寄贈2台及び備品、消耗品)

23年度(山田町社協マツダボンゴ1台、釜石市社協ダイハツハイゼット1台)

### ⑥誰かのために」プロジェクト AKB48の車両寄贈

24年度5法人(翔友、慈愛会、リアス福祉会、清風会、陸前高田市保育協会)



## (7) 被災法人・施設の現状調査

①平成23年3月～6月まで、随時取りまとめ

②平成23年6月2日、全国経営協災害見舞金内申取りまとめ

③平成23年8月3日、県経営協東日本大震災津波義援金配分委員会被災状況取りまとめ

④平成23年9月、被災・復旧状況取りまとめ

⑤平成24年1月、復旧状況取りまとめ

⑥平成24年4月、復旧状況取りまとめ

⑦平成24年7月、復旧状況取りまとめ

⑧平成24年9月、復旧状況取りまとめ

⑨平成25年1月、復旧状況取りまとめ

## (8) 復旧・復興に係る補助金、 助成金等情報提供

①全国経営協災害見舞金制度

②『東日本大震災に係る社会福祉施設等災害復旧費の国庫補助について』等

③被災事業者及び被災従業者への労働保険関係及び助成金

④各種団体助成金の情報提供

⑤医療機構貸付情報(災害復旧資金 福祉貸付)

## (9) 相談支援活動

①福祉医療機構災害復旧資金(福祉貸付)現地相談会

盛岡市 平成23年6月20日～21日

遠野市 平成23年10月24日～25日

仙台市 平成23年11月28日

盛岡市 平成24年9月7日

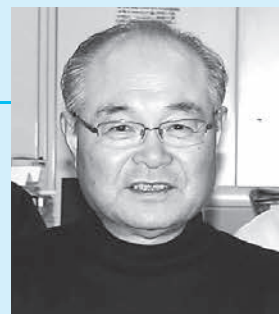
二戸市 平成24年12月18日(県北ブロック共催)

②経営相談員による訪問支援

被災法人支援3法人(三陸福祉会、親和会、陸前高田市社協)

③長期支援

陸前高田市社会福祉協議会(職員派遣1名、役員就任1名、生活支援相談員派遣5名)



3.11 東日本大震災の発災後、携帯に1件のメッセージが残されていました。それは、岩手県社会福祉法人経営者協議会、前会長の橋本さんが行方不明であるとの情報でした。

私は誤報であって欲しいと願いつつ日々の対応に埋没していました。通信回線が徐々に回復する中、県社協内でもささやかにはじめ、それは現実のものとなりました。

私は、被災施設の情報収集や自分の3月末での退職を控え慌ただしく過ごしていたある日、全国経営協から、岩手、宮城、福島県の経営協に支援物資を送るとの連絡を受けました。

この混乱の中、どのような手段で支援物資を配送するか苦慮しましたが、どうにかトラックの手配やガソリンの購入に目処が立ち、経営協中央ブロック青年部の屈強の会員達の心強い応援を得て、二日間にわたり被災された施設を中心に支援物資を、手製のチラシ「まごころ交差点」とともに迅速にお届けすることが出来ました。

訪問した施設の中には、数百人に及ぶ避難者をお世話していた所もあり、地域コミュニティの1組織として地域にしっかり根を張り地域住民の皆さんに法人、施設が頼りにされていることを実感しました。

私は、経営協会員施設への5年間の訪問指導の経験と、沿岸部の出身であることから地理に詳しく、震災により寸断された道路や小道を縫うように配送トラックの先導に務めました。瓦礫の山で迂回を余儀なくされた箇所もありましたが、さすがプロのドライバー、必死に追って来てくださったトラックの運転手さんに感謝しています。

楽しかった幼い頃の思い出がいっぱい詰まった生家が海の藻屑と化し、また、ともに学び酒を酌み交わした刎頸の友をこの大震災により失ったことを記し、犠牲になられた多くの方々のご冥福をお祈りいたします。